

令和6年
伊豆市議会3月定例会

一般質問

令和6年3月

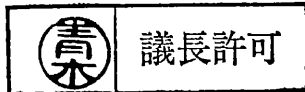
令和6年伊豆市議会3月定例会一般質問者と質問事項

2月20日（火）午前9時30分～

発言 順序	議席番号、氏名	質 問 事 項	答 弁 を 求 め る 者	ページ
1	16. 杉山 誠	命を守る防災減災対策の強化	市 長	1
2	12. 小長谷 順二	1 ドローン技術のさらなる活用は	市 長	5
		2 事業承継支援の状況は	市 長 教 育 長	6
3	9. 鈴木 正人	「能登半島地震」から見える伊豆市の課題を市民と共有するために	市 長 教 育 長	7
4	14. 三田 忠男	『子育て全力宣言伊豆市』を問う	市 長 教 育 長	10
5	2. 浅田 藤二	自然環境と経済について	市 長	12

2月21日（水）午前9時30分～

発言 順序	議席番号、氏名	質 問 事 項	答 弁 を 求 め る 者	ページ
6	4. 飯田 大	大規模自然災害発生時における被災者の食事確保について	市 長	16
7	6. 下山 祥二	大型事業完結後の伊豆市の未来づくり	市 長 教 育 長	17
8	1. 小川 多美子	学校の女子トイレに生理用品の設置と関連事項について	市 長 教 育 長	19



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 6年 2月 1日

伊豆市議会議長 様

議席番号 16 議員名 杉山 誠

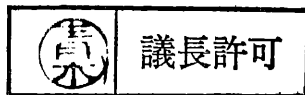
No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (一括・分割) ※発言予定時間 (20分・30分) ②質疑 ③討論 (反対・賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1.命を守る防災減 災対策の強化	<p>令和6年1月1日、石川県能登地方で発生した能登半島地震では、志賀町と輪島市で最大震度7が観測されるなど激しい揺れに襲われ、多くの建物が倒壊するなどして1月31日までに石川県内で「災害関連死」の疑いを含め、238人の方が亡くなり、1万4,000人を超える人々が避難場所での不自由な避難生活を強いられています。</p> <p>謹んで亡くなられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された皆様に心よりお見舞いを申し上げます。</p> <p>能登半島と似た地形や環境にある伊豆半島では、想定される南海トラフ巨大地震などの大規模災害に備え、さらなる対策を強化する必要があります。</p> <p>市長は、仕事始め式での職員訓示をはじめ、1月臨時会冒頭での発言など、これまでに「自然災害における死者ゼロを目指す」ことを繰り返し表明してきましたが、新年度予算審査を迎えるにあたり、あらためてその決意を伺います。その上で、以下具体的内容について質問します。</p> <p>① 能登半島地震では、死亡した人の約4割が倒壊した建物の下敷きになったことなどによる圧死とされ、最も多くなっている。県では、木造住宅耐震化プロジェクト「TOUKAI-0」に関する県民の問い合わせが増えている。としているが、当市における補助対象家屋の耐震化の状況はいかがか。また、耐震シェルターと防災ベッド設置事業についてはいかがか。</p> <p>② 揺れを感知して自動的に電源を落とす「感震ブレーカー」は、停電復旧後に、損傷した配線や家電製品に再通電することで火災を引き起こす「通電火災」を防止</p>	市長

件名	内容	答弁を 求める者
	<p>する効果がある。県では、市町が行う感震ブレーカー設置補助を交付金対象に加えるとのことだが、当市ではどのように取り組むか。</p> <p>③ デジタル化が進む現在ではスマホを活用した避難誘導も効果的と考える。</p> <p>富士市では昨年11月から、防災情報を総合的に発信するスマホ用アプリ「防災ふじ」の運用を始めたとのこと。このアプリでは、同報無線内容の通知、自宅周辺の災害リスクや最寄りの避難場所を示すハザードマップ機能、避難所の開設状況や混雑具合が表示される確認機能などのほか、要支援者が周辺にいる支援者に手助けを要請できるマッチング機能も備えており、このマッチング機能は全国で初めてとのこと。</p> <p>防災・災害情報を得る手段はSNSをはじめ数多くあるが、ネット上でのデマ拡散など有害な情報も出回る危険がある。公式情報を総合的に発信し、避難誘導に役立てる取り組みとして有効であると考えがいかがか。</p> <p>④ 能登半島地震では、インフラなどの復旧が遅れる中、避難の長期化が課題となっている。</p> <p>内閣府男女共同参画局が自治体向けに作成した「防災・復興ガイドライン」の避難所運営に関する項目では、女性の視点を生かした避難所運営などが改めて求められている。そのためにはまず、避難所運営に女性が参画してリーダーシップを発揮できるようにする必要があり、具体的には、責任者や副責任者など役員の少なくとも3割以上を女性にすることや、避難所での生活のルール作りを行う際には女性の意見を反映させるよう促すことなどがあげられている。</p> <p>地域役員の多くを男性が占めている中で、自主防災組織に女性の割合を高めていくことが必要と考えるがいかがか。</p> <p>また、避難所の環境整備について、プライバシーを十分に確保できる間仕切りの工夫や、異性の視線が気にならないよう更衣室や物干し場、入浴施設は男女別に設けることや、女性用品の備蓄や配布場所の設営とともに、トイレの場所を男女別にして女性用トイレの</p>	

件名	内容	答弁を 求める者
	<p>数を男性用に比べて多くするなどの配慮も必要とされるがいかがか。</p> <p>⑤ 災害時には多くの方が避難所での生活を余儀なくされ、トイレは50人に一つ、避難が長期化する場合には20人に一つ必要といわれている。しかもトイレは安全で清潔、快適なものが求められるが現実には難しく、なるべくトイレに行かないように水分摂取を控えたりすることで、健康に大きな影響を及ぼすことがある。このため、全国の自治体が災害時に派遣できるトイレトレーラーを配備し、被災地に全国から集結することで、災害時に深刻化するトイレ問題の解決に取り組もうとする災害派遣トイレネットワーク「みんな元気になるトイレ」に参画する自治体が広がっている。このトイレトレーラーは、災害時の利用を想定して企画・設計された移動設置型水洗トイレで、能登半島地震でも20台以上が活躍している。</p> <p>財源は国の緊急防災・減災事業債を利用し、自治体負担分をふるさと納税やクラウドファンディングで賄うなどしてトイレトレーラーを購入し、被災地への派遣のほか平常時にイベント会場でも活躍させている。</p> <p>当市でもぜひ導入を考えてはいかがか。</p> <p>⑥ 1月臨時会で市長は、仮称日向公園について「仮設住宅用地も想定はしているが、望ましいのは、仮設住宅として造成された土地を確保しておくこと」等の発言をしているが、これは新たな土地の確保を進めるということか、また、仮称日向公園の用途を変更するということか。</p> <p>⑦ 被災地への救助・救援活動に重要な役割を果たす道路網について、能登半島地震では各地で道路が寸断され、救助・救援活動はおろか被災状況の把握にも多くの時間を費やした。</p> <p>伊豆半島では、内陸から高規格道路を含む複数の道路につながる道の駅伊豆月ヶ瀬が、海岸部への重要な結節点としての拠点機能を有するとされるが、今でも休日には駐車場が満車状態となる中で、災害時に支援車両が集結することは困難と考える。平常時の利用を含め、駐車場の拡大について、国や県への働きかけや</p>	

件名	内容	答弁を求める者
	<p>用地確保の検討はしているか。</p> <p>⑧ 能登半島地震では、集落の孤立で職員が役所に参集できないなど、自治体の業務継続計画（BCP）の実行は困難を極めた。</p> <p>当市では、自治体が業務を続ける上で重要とされる6要素、すなわち首長不在時の明確な代行順位や職員の参集体制、本庁舎が使えなくなった場合の代替庁舎の特定、電気や水そして食料などの確保、災害時にもつながりやすい多様な通信手段の確保、重要な行政データのバックアップ、非常時優先業務の整理について計画されているか。</p> <p>そして、定期的な訓練や他地域での災害発生などを機に、その都度、計画を見直して更新していくことが求められるが、能登半島地震災害の教訓はいかに反映していくか。</p> <p>さらに、被災自治体だけでは十分に対応できないケースもあり、他の自治体からの応援を受け入れる体制も整えていくことが必要だがいかがか。</p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和6年1月30日

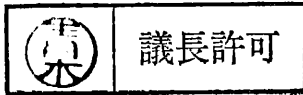
伊豆市議会議長 様

議席番号 12 議員名 小長谷順二

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (一括・分割) ※発言予定時間 (20分・30分) ②質疑 ③討論 (反対・賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. ドローン技術のさらなる活用は	<p>平成30年12月にドローンの活用の見解について一般質問を行いました。市長は「新しい技術を活用したドローンというのは、とても活用先が広がり、大きく期待をしているところで、測量設計会社とドローンを活用した災害時における情報収集の協力に関する協定を締結させていただきました。私どもがみずから持つのではなく、既に取得していらっしゃるドローンを活用させていただくことがとても有効だと思っております」との答弁がありました。</p> <p>能登半島地震の発生から被災地では、道路が寸断されて孤立した集落等の被災状況の確認や迅速に救援物資を届けられるかが課題となりました。そんな中、国内のドローン製造企業などをつくる、日本 UAS 産業振興協議会は石川県輪島市内で地震災害直後にドローンを使って孤立地域に薬を届けた。ドローンによる物資供給は全国初という報道がありました。インターネットの情報を検索すると、自治体のドローン利活用は、実証実験の段階の情報が多く、即実現可能かどうか不透明な状況ですが、テクノロジーの向上で、迅速な災害対応や自治体が抱えるさまざまな課題を解決する役割を果たす可能性は十分にあると考えます。</p> <p>ドローン技術は年々進歩しています。当市の災害対策への活用、鳥獣被害対策、観光推進等、ドローンを活用した取り組みとさらなる実現の可能性について伺います。</p>	市 長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
2. 事業承継支援の状況は	<p>事業承継とは、経営者が自身の会社や事業を後継者に引き継ぐことで、従来、日本の中小企業や事業者は、自分の子どもや親族、信頼できる部下等を後継者として経営を継続するのが一般的でした。しかし近年では、さまざまな理由で後継者が見つからないまま、経営者の高齢化等で、休業・解散を余儀なくされたりする会社や事業所が増えてきており深刻な状況になりつつあります。</p> <p>小規模事業者・中小企業の経営者のうち、約 245 万人が 2025 年に 70 歳以上となり、その約半分で後継者が未定としています。中小企業庁は、「中小企業・小規模事業者における M&A の現状と課題」において、現状を放置すれば 2025 年までの累計で約 650 万人の雇用と、約 22 兆円の GDP が失われる可能性があるとして指摘しています。</p> <p>① 建設業や宿泊業、飲食業等、地域のインフラ整備や産業振興に貢献している事業所の廃業が相次いでいます。市内事業者への事業承継の支援の状況と今後の取り組みについて伺います。</p> <p>② 自治会等は、地域における共助を担っており、本市として欠かすことのできない重要なパートナーです。コロナ禍で停まっていた地域行事も再開し、地域コミュニケーションが復活しようとしています。その一方で、これまで自治会や地域の団体等（教育部所管含む）が担ってきた共助の事業を承継していくうえで、後継者不足に悩んでいるのが現状で、何らかの施策を施す必要があると考えます。</p> <p>人口減少、そして高齢化が進む中で、自治会等の共助事業の承継という観点から、後継者不足や地域のコミュニケーションの状況をどのように考え、今後支援をしていくのか伺います。</p>	市 長 教 育 長



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和6年2月1日

伊豆市議会議長 様

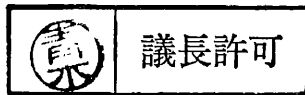
議席番号 9 議員名 鈴木正人

No. 1

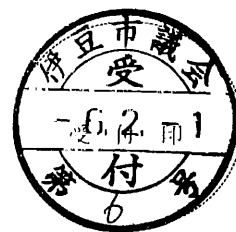
発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (一括・分割) ※発言予定時間 (20分・30分) ②質疑 ③討論 (反対・賛成) ④その他 ()
発 言 の 要 旨	
件 名	内 容
「能登半島地震」 から見える伊豆市 の課題を市民と共 有するために	<p>本年1月1日(元日)午後4時10分、能登地方を震源とする「マグニチュード7.6」「最大震度7」の大規模地震が発生し、能登半島を中心に、「その強烈な揺れによる家屋等の倒壊」、「津波による港湾施設を含む沿岸部の損壊」、また「大規模火災の発生」などによって、230名を超える死者や多数の負傷者を出す甚大な被害をもたらしました。</p> <p>改めて、被災された方々にお見舞い申し上げるとともに犠牲になられた方々ならびにご遺族の皆様ここに謹んで哀悼の意を表します。また、自衛官の皆様、全国各地から派遣されている警察、消防、自治体職員の皆様、災害救護に当たる医療従事者の皆様など、過酷な状況のなかで被災地の復旧、被災者の支援のために尽力されている全ての皆様に最大級の敬意を表するとともに感謝申し上げます。</p> <p>発災から1カ月。仮設住宅の建設が始まるなど、少しずつではありますが、生活再建の動きの兆しは、報道から見えますが、未だに断水が続く地域、活断層の活動や液状化によって甚大な被害を受けた道路等のインフラの復旧など今後の「真の復興」にはまだまだほど遠い現実があるのも事実です。そのなかでも、1日も早く被災者の日常生活が戻ることを願ってやみません。</p>
	答 弁 を 求 め る 者
	市 長 教 育 長

件名	内容	答弁を 求める者
	<p>わが伊豆市にとっても、今回の能登半島地震は同じ「半島」という地理的要因や、過疎化や高齢化が進む地域であることなど共通点が多く、さらに「南海トラフ巨大地震」が2030年代半ばに発生の確率が高いと予測されることなどから、市民は「自分ごと」として今回の災害を捉え、高い関心を持って注視していると考えます。</p> <p>来たる「南海トラフ巨大地震」は、この度の「能登半島地震」を凌ぐ規模で、さらに広域にわたる被害が予想されます。その中で、今回の「能登半島地震」から見えてきた課題と、伊豆市の現状について以下伺います。</p> <p>① 5期目を目指す市長は、「災害死者ゼロ」または「家屋倒壊死者ゼロ」を目指していますが、現状の課題とその解決の為に何が必要と考え、どのように市民と認識を共有していかれるのか伺います。</p> <p>② この度の「能登半島地震」では、主に家屋の倒壊により死者が発生しました。伊豆市内の住宅の「耐震化率」はどの程度進んでいるのか、また公共施設を含む「1次・2次避難所」の耐震、民間の福祉施設や旅館・ホテル等の耐震化の現状を伺います。</p> <p>③ 上下水道施設（水道管・配水施設・処理施設等）の耐震化の現状と、課題について伺います。</p> <p>④ 主要幹線道路（国県道）、市道、生活道路等が寸断された場合の「復旧」に係る体制は如何か伺います。</p> <p>⑤ 発災時（地震・津波）の聴覚障害者や海外の方等への情報伝達の現状と課題について伺います。</p> <p>⑥ 地震発生時に電気を遮断する「感震ブレーカー」の設置状況について伺います。</p>	

件名	内容	答弁を 求める者
	<p>⑦ 避難所における災害備品および資材の備蓄状況とその課題について伺います。</p> <p>⑧ 災害物資受入れの体制と課題について伺います。</p> <p>⑨ 「能登半島地震」では、様々な事情から、災害関連死を防ぐ為に重要な役割を果たす「2次避難所」への被災者の移動が進まない現状が見受けられました。 「2次避難所」としての現状の受入れ先、移動を促す為の対策等は如何か伺います。</p> <p>⑩ 災害弱者である障がい者や高齢者または乳幼児の受入れ先として「福祉避難所」の設置が望まれますが現状の体制とその課題について伺います。</p> <p>⑪ 被災した子どもの学習機会の確保の現状の対策と課題、また子どもの「心のケア」の支援体制と課題について伺います。</p> <p>⑫ 「災害ゴミ」の仮置き場や受入れ体制、被災後の「一般ゴミ」の収集および処理体制とその課題について伺います。</p> <p>⑬ 伊豆市から「石川県穴水町」に「2名」の職員が派遣され、それぞれ「り災証明書の交付業務」、「避難所の運営」業務に当たられました。 この派遣業務において、新たな課題の発見やその報告に基づく庁内各部署の災害対応についての課題の「洗い出し」はなされているのか伺います。</p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 6年 2月 1日

伊豆市議会議長 様

議席番号 14 議員名 三田 忠男

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (<input checked="" type="checkbox"/> 一括 ・ 分割) ※発言予定時間 (20分 ・ <input checked="" type="checkbox"/> 30分) ②質疑 ③討論 (反対 ・ 賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
1. 『子育て全力宣言伊豆市』を問う	<p>東海バス、市役所公用車等に子育て宣言 伊豆市のロゴが非常に目立っております。先般、お子様の前途に不安を抱えながら、子育て中の親御さんと面談の機会がありました。</p> <p>また、市民から、多々要望・問い合わせを受けていますので、市民の代弁機能や社会資源開発の機能をもとに、以下質問致します。</p> <p>① 子育て全力宣言前の、子育て施策の評価と課題</p> <p>② 子育て全力宣言を出した、背景と経緯</p> <p>③ 子育て全力宣言後の変化と現時点での課題</p> <p>④ 具体的に、新たに取り入れた視点や行動、組織変更等</p> <p>⑤ 直接の所管事務部署以外で、子育て宣言を意図して取り組んでいる施策はあるのか</p> <p>⑥ 児童福祉施策と教育委員会部局での政策協議の場はどのように行われているのか。</p> <p>⑦ 各種、行政計画の作成時の、市民・当事者の意見・要望をいかなる手段で把握しているのか。</p> <p>⑧ 避難所や福祉避難所での子どもの支援はどのように計画されているか等伺います。</p> <p>⑨ 『子育て全力宣言』は、「伊豆市で生まれた子、生きたい親、伊豆市で育ちたい子・育てたい親や、移住希望者の子どもや親御さんに対して、発育の遅れや医</p>	市長 教育長

件名	内容	答弁を 求める者
	療的ケアを要す等特別に配慮を要する子どもと親御さんも分け隔てなく全力で応援します。」と宣言したのですか。	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 6年 2月 1日

伊豆市議会議長 様

議席番号 2 議員名 浅田 藤二

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (<u>一括</u> ・ 分割) ※発言予定時間 (20分 ・ <u>30分</u>) ②質疑 ③討論 (反対 ・ 賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
自然環境と経済について	<p>議会報告会(みんなで語る会)は、対象別に4回開催し、子育て中のお母さんや小学生、中学生の保護者のみなさん、伊豆総合高校の生徒さんの現在かかえている問題や町づくりへの希望など活発な意見を聞くことができ、たいへん有意義な会となりました。会のはじめに、『伊豆市に住んでいてよかったなー、幸せだなー、と感じているところをお話ください』と質問させていただきました。全ての会で、『素晴らしい、自然環境』という答えが返ってきました。</p> <p>伊豆市の海、山、川、温泉、花や植物、だるま山から見る景色や田園風景は、市民の心のよりどころであり、誇りであると感じとることができました。</p> <p>その町の風景は、その町の価値であり、次の世代への贈りものだと思っています。つまり、地域の自然環境、歴史、伝統、文化に深く根ざした取り組みから世界とつながっていくことが大切で、グローバル化が進み、世界中が同じ顔に見えてきた今だからこそ、ローカルであること、地域の独自性(自然環境の素晴らしさ)をとらえ、チャンスにしていけることが重要だと考え、今回の質問をさせていただきます。</p> <p>これからは、地域の人たちが営んでいる、暮らしの中に息づく自然環境や文化的な豊かさが、経済を動かすようになり、日々の生活の中にある地域の暮らしの豊かさや誇りが観光になる『生活観光』の時代になってくると思ってい</p>	市長

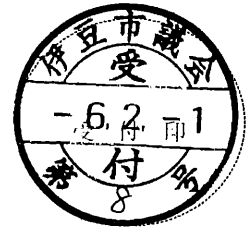
件名	内容	答弁を 求める者
	<p>ます。</p> <p>市民の誇りでもある、伊豆市の素晴らしい自然環境が経済とつながって、目に見えるかたちで持続可能な美しい循環をつくっていくことができないでしょうか。</p> <p>すでに身近な経済効果が出ている例は、ごみ焼却施設(クリーンセンターいず)の発電施設が挙げられます。売電収入は、当初の予想より上回っていると聞いています。施設見学も多く受け入れ、子どもたちの環境教育の場にもなっています。若いお母さんたちによる、フリーマーケットも開催予定だそうです。周辺地域の避難所としても利用が可能なので、まさに、持続可能な美しい循環たる施設といえます。 質問します。</p> <p>① 天城山から豊富な伏流水が湧き出ています。この水を利用した水力発電に行政として積極的に取り組むお考えはありますか。『天城山の豊富な水を利用した水力発電で電気代が無料』などの、キャッチフレーズがあれば、環境に配慮した桃源郷のような地域として U ターンや移住者が増えてくるのではないのでしょうか。</p> <p>② 令和3年9月定例会において、『火災予防と循環型社会の構築』という質問をさせていただき、草や落葉、枯枝や剪定枝の野焼きにより、多発する火災の防止と粉碎した剪定枝や枯枝を畑にまき肥料とするため、木材粉碎機購入補助制度の提案をさせていただきました。回答は、『多角的に検討していきたいと考えている』でした。アンケートをとっていただきましたが、その後の方向性がみえません。今もなお、野焼きによる、火災が次々に発生しています。この補助制度により、枯枝、剪定枝は燃やすのではなく機械で粉碎して畑にまいて使うのが、あたりまえの考えが、市民に根付いてくれることを願っています。お考えをお聞かせください。</p>	

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>③ 伊豆市農林水産課で行っている、環境にやさしい農業セミナーは毎月1回のペースで行われ、毎回多くの方が参加しています。参加者が毎年増えていくのは、環境にやさしいこと、自然循環でつくられる安全で安心な食材に、強い関心がよせられている証拠です。</p> <p>国は大きく農業政策を転換し、令和4年にみどりの食料システム法を施行しました。これは、気候変動の影響で安定的な農水産物の供給が脅かされていること、農林水産業・食品産業による環境負荷の軽減と地球環境の維持が求められていること、世界情勢の混乱から予想される食糧危機に備えるために施行されたものです。</p> <p>有機農業に地域ぐるみで取り組む産地(オーガニックビレッジ)の創出に取り組む、市町村の支援に力をいれています。令和7年までに100の市町村がオーガニックビレッジ宣言することを目標にかかげています。静岡県ではすでに、藤枝市と掛川市が宣言をし、川根本町が準備に入っています。静岡県東部では、令和6年度に伊豆の国市が宣言予定だと聞いています。</p> <p>伊豆市の魅力は、美しい自然環境とその恵みに恩恵を受ける食材の宝庫であることがあげられます。自然環境と食を町づくりのテーマにすれば、今回の質問の自然環境と経済の融合につながっていくのではないのでしょうか。そのためにも、伊豆市が先頭に立ち、伊豆半島全体を巻き込むかたちで、オーガニックビレッジ宣言をしてみませんか。伊豆半島のレストラン、ホテル、旅館、学校給食で食べる美味しい料理はオーガニック食材が使われていると認知されれば、まさに、オーガニック半島、伊豆ペニンシュラとして、国内はもとより、世界の注目が集まるのではないのでしょうか。オーガニックビレッジ宣言へのお考えについてお伺いします。</p>	

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>④ アメリカ、カリフォルニア州のサンフランシスコ沿岸の南部に位置するシリコンバレーは、Apple、Google、Facebook、Yahoo！インテルなどに代表されるソフトウェアやインターネット関連企業が多数生まれ、IT 企業の一大拠点となっています。日本の企業から派遣された友人が、シリコンバレーで行われた研修に参加したときに『なぜ、こんなにシリコンバレーは多くの IT 関係企業や、研究機関や大学が集まるのか』の質問に対して、研修の講師は、『一番の理由は、気候がいいことだ』と答えたそうです。シリコンバレー一帯は、以前は一面の果樹園だったそうです。夏は、涼しく、冬は暖かく、年間をとおして非常に過ごしやすい気候だそうです。日本では、熊本県菊陽町(人口4万4千人毎年500人ずつ増加)に台湾の半導体メーカーが進出しました。その理由は、豊富でかつ質が良い水の供給が可能であることが最大の理由だそうです。</p> <p>気候がいいこと、水が豊富なこと、伊豆市はその条件を満たしています。これからの企業誘致の一つの方向性を感じますが、いかがでしょうか。</p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

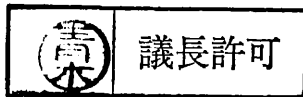
令和 6年 2月 1日

伊豆市議会議長 様

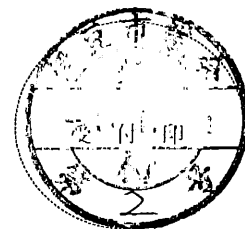
議席番号 4 議員名 飯田 大

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (一括・分割) ※発言予定時間 (20分)・30分) ②質疑 ③討論 (反対・賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
大規模自然災害発生時における被災者の食事確保について	<p>1月1日発生した能登半島地震は甚大な被害をもたらした。多くの人的、物的被害が発生した。</p> <p>死者 200 余名のうち低体温症・凍死が 32 名と、体力の消耗から命を落とす事例が多くみられている。尊い人命を助けるために、被災後の生命維持に最も大事な栄養補給を欠かすことはできません。そこで、伊豆市の災害時における食事に関する備えと対応策について伺います。</p> <p>① 市内災害非常用倉庫の食品等備蓄状況(庁舎・区・学校等)について</p> <p>② 要配慮者への対応は</p> <p>③ 水の確保対策は</p> <p>④ 2次避難所での対応(仮称日向公園)は</p> <p>⑤ 炊き出し等訓練状況、熱源対策は</p> <p>⑥ 近隣市町の連携協定は</p> <p>⑦ 食品等物資確保方策は</p>	
	市長	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和6年1月31日

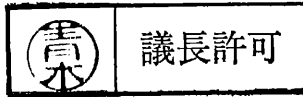
伊豆市議会議長 様

議席番号 6番 議員名 下山 祥二

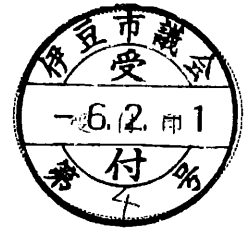
No. 1

発言の種別 (○で囲む)	① <u>一般質問</u> (<u>一括</u> ・分割) ※発言予定時間 (20分・ <u>30分</u>) ②質疑 ③討論 (反対・賛成) ④その他 ()	
発 言 の 要 旨		答 弁 を 求 め る 者
件 名	内 容	
大型事業完結 後の伊豆市の未 来づくり	<p>平成29年5月15日、伊豆市議会第3回臨時会で文教ガーデンシティ構想に係る補正予算が否決され、コンパクトタウン&ネットワーク構想の実現は頓挫し大幅に遠回りを余儀なくされることとなりました。400名近い子育て世代の当事者から提出された請願も否決され、心身ともに最も成長する市内の中学生が最適な教育環境下で逞しく育ててほしいという願いも叶わず、堪えがたく^{じくじく}忸怩たる思いをしながら7年が経過しました。それでもその3年後、令和2年6月には修善寺東こども園が開園し、どうか市内に留まっていた中伊豆温泉病院は昨年12月中伊豆地区の清水で開院となりました。さらにその当時から事業費は大きく高騰しておりますが、日向地区では伊豆中学校と(仮)日向公園も着々と工事が進み完成に向け形になりつつあります。1年後には伊豆中学校が完成し開校、その翌年には(仮)日向公園の完成を待ちわびるところです。長い年月を経て、ようやく文教ガーデンシティ構想が実現したものと思っています。</p> <p>今後も新リサイクルセンター整備事業、修善寺地区小学校の再編、中伊豆小学校の建設、また修善寺駅周辺まちづくり構想なども検討されていますが、現在伊豆市で進めている大型事業が完成した後、伊豆市の10年20年先を見据えた持続可能なまちづくりをどのように創造していくのか現状の伊豆市の課題を超えて、未来づくりをどのように創造していくのか伺います。</p>	市 長 教 育 長

件 名		答 弁 を 求 め る 者
	<p>① 文教ガーデンシティ構想否決を受け、その後のまちづくりはどのようなことに留意して進めてきたか、またこの間の教育環境整備などの教育行政についても伺います。</p> <p>本年、当市は市制 20 周年を迎えることとなりますが、今の伊豆市の課題および現状の防災対策について伺います。</p> <p>②全国の自治体同様、当市の少子化高齢化の波もおさまりません。人口動態を自然減社会減の両面から踏まえ、現状の当市における重要課題はどのように考えているか伺います。</p> <p>③能登半島地震の発生から今日まで約 1 ヶ月半経過しました。地震発生から現在まで被災地の現状そして復旧復興状況から何を学び、今後当市として南海トラフ大地震などの未曾有の大災害に備え、市民の生命を守るための防災対策で新たに強化すべき点を具体的に伺います。</p> <p>合併特例債もほぼ全額を使い切り、その期限もあと 1 年となりました。現在進行中の大型事業、そして今後予定されている大型事業が完結したその後、市民主体の協働による未来まちづくりを目指し、市民と職員のモチベーションをどのように図っていくのか、大変重要であると考えます。</p> <p>④日本全体で人口減少の流れが続く将来予想において、今後とも伊豆市が継続して守るべきことは何か、逆に今後は変わらざる得ないこと、つまり市民が少しだけ我慢を強いられるようなことがあるのかお聞きします。</p> <p>⑤今後、近隣自治体をはじめ伊豆半島の自治体との広域連携はどのようなことが必要と考えるか、また将来的に市町合併の可能性について伺います。</p> <p>⑥現状の伊豆市の財政状況はどのように評価し、今後も持続的に安定した財政運営を維持できる確信について伺います。</p> <p>⑦市長、教育長が思い描く 10 年 20 年先の伊豆市の未来図、その理想像はどのようなものか伺います。</p>	



発 言 通 告 書



下記のとおり発言したいので通告します。

令和 6年 2月 1日

伊豆市議会議長 様

議席番号 1 議員名 小川多美子

No. 1

発言の種別 (○で囲む)	①一般質問 (<u>一括</u> ・ 分割) ※発言予定時間 (20分 ・ <u>30分</u>) ②質疑 ③討論 (反対 ・ 賛成) ④その他 ()
発 言 の 要 旨	
件 名	内 容
学校の女子トイレに生理用品の設置と関連事項について	<p>第 211 回国会参議院文教科学委員会に付託された、全国の学校に無償で自由に使える生理用品を配置することに関する請願です。</p> <p>要旨は、近年、生理の貧困問題が顕著になってきている。コロナ禍による失業、収入の減少、保護者による養育の放棄(ネグレクト)や配偶者による DV などの事情から、生理用品の購入が困難になる、交換頻度を減らす、トイレットペーパーで代用しているといった声が上がっている。ジェンダー平等の観点からも生理用品の購入確保は女性として生まれた者のみに負担をかけ、問題である。学校へ行くことや仕事をするのがままならない状況を何としても改善せねばならない。トイレに行けば無償でトイレットペーパーが使えるように、トイレに行けば無償で自由に使える生理用品がある環境を求める。また、生活必需品である生理用品に対して消費税が課せられていることは大変問題である。ついては次の事項について実現を図られたい。</p> <p>全国の公立小学校、中学校、高等学校、それに準ずる教育施設に返却不要な、無償で自由に使える生理用品を配置すること。</p> <p>この請願書を見ますと全国的に生理用品で困っている児童生徒が多くいるということだと思います。</p>
	答 弁 を 求める者
	市長 教育長

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>また、北海道教育庁学校教育局健康・体育課からも次のような取組事例報告書が出ています。報告書によりますと、生理用品は生活になくってはならないものであり家庭の経済的理由等で購入できない場合はもとより、急遽必要となった場合も含めて児童生徒の心身に影響を与えるものであり「女性活躍・男女共同参画の重点方針」においても「生理の貧困」は女性の健康や尊厳に関わる重要な課題と明記されています。</p> <p>学校トイレへの生理用品配置の他都府県立学校での広がり、全学校で配置しているのが15県、一部に配置が13県と全国で配置の動きが広がっている状況です。</p> <p>生徒からのアンケート調査の結果では</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生理用品が手元になく困った経験がある生徒が8割程度いる。 ・トイレに置かれた生理用品を利用したと回答したすべての生徒が、今後も利用したいと希望している。 <p>また、教職員も配置に肯定的であることを踏まえ、すべての道立学校のトイレに生理用品を配置することにしたようです。</p> <p>他県においても多くの学校や保護者を通じての小中学生児童生徒を対象に行われたアンケート結果では回答を寄せた82%の児童生徒から「あったほうがいい」と答え、理由として「トイレに置いてあれば保健室にもらいに行ったり友人に頼んだりしなくていいから」とか「学校に持って行っても周囲の視線が気になりカバンから出しにくいのでトイレにあると助かる」といったコメントが寄せられていたということです。</p> <p>これらを踏まえ次のことを伺います</p> <p>① 私は以前「生理の貧困」と言うタイトルで「トイレに</p>	

件 名	内 容	答 弁 を 求 め る 者
	<p>生理用品」を置いてはどうでしょうかという質問をしましたが、検討結果はどのようになりましたでしょうか。</p> <p>② 保健室にもらいに行く生徒はいますか。</p> <p>③ 生理用品が必要になって保健室を訪ねると同時に生理痛に悩んでいる生徒もいると思います。企業や役所などでは生理休暇があると思いますが、どのような扱いであり、生理痛で学校を休んだりした生徒の場合の扱いはどのようになりますか。</p> <p>④ 新中学校を建設中ですが、ゆったりとした個室のトイレにしては如何でしょうか。</p> <p>以上質問します。</p>	